

# 社会教育情報

## くべつ川



2012(平成24)年4月1日

第209号

標津町教育委員会

☎0153-82-2900

### 楽しみながら、自分を高めましょう

～標津きらり大学平成24年度事業一覧表が発行されました～

今年度3年目を迎えた標津きらり大学の事業ですが、しべつ川とともに、事業一覧表が広報に折込されています。今年度も様々な事業に参加して、自分をより高めていってはいかがでしょうか？



教育委員  
QRコード

### ★★★ 標津きらり大学称号授与者 ★★★

標津きらり大学では開校記念事業において、称号授与式を行う予定です。以下の称号が単位を取得すると認定されます。

- |  |               |
|--|---------------|
| <input type="checkbox"/> キッズ学び 奨励賞       | 50単位【小学生】     |
| <input type="checkbox"/> ジュニア学び奨励賞       | 80単位【中学生・高校生】 |
| <input type="checkbox"/> 「標津きらり大学学士」称号認定 | 50単位          |
| <input type="checkbox"/> 「標津きらり大学修士」称号認定 | 100単位         |
| <input type="checkbox"/> 「標津きらり大学博士」称号認定 | 150単位         |

称号を取得した人は、生涯学習センター「あすばる」までご連絡(82-2900)ください。4月13日(金)まで。



毎年4月と11月は  
「北海道学び推進月間」  
です

## 熱い意見で交流しました ～第2回青年座談会～

1月31日、生涯学習センターにおいて、第1回目の座談会を行い、まとめとして以下の2点の話が出されました。

- 1 今回限りで終わりとせず、これを契機に青年の力を結集し、町外に向けた地場産食材のPR・販売活動を行うことで、標津町をPRして、町の活性化につなげていく。
- 2 次回の会議は、意見交換しやすい雰囲気の中で開催し、具体的な取り組みについて議論する。

そして第2回目の座談会は、ホテル川畑において、「交流・つながり」を目的にして、農協・漁協・商工会などから17名の出席で行われました。

自己紹介後、各地で行っている、イベントの情報提供等がされた後、今後の運営方針などを話し合いました。

参加者同士、活発な意見交換がなされ、熱い雰囲気の中で、時間が過ぎるのが早く感じられました。

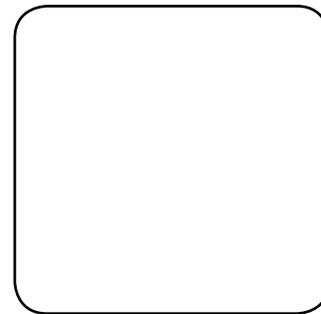
次回(3回目)に向けて、自分たちが何ができるか(方向性)をそれぞれの立場で出し合いながら交流を深め、「あせらないで継続していこう」ということで、会を終了しました。



交流とつながりが深まりました

# 平成 24 年度 標津町教育行政執行方針

青山教育長が、平成 24 年度の標津町教育行政執行方針を述べました。  
その内容を紹介いたします。



## I はじめに

平成24年標津町議会第1回定例会が開会されるに当たり、平成24年度の教育行政方針について御説明申し上げ、町議会並びに町民の皆様の御理解と御支援を賜りたいと存じます。

現在、我が国は経済状況が大きく変動するなかで、少子・高齢化による人口の減少や高度情報化、環境問題などが急速に進行するなど、時代の大きな変革期を迎えています。当町においても、薫別、古多糠の2校が閉校し4校体制に移行するなど、やむなく縮小せざるを得ない時代になっております。先行き不透明な時代にあって、次代を担う子どもたちの教育をめぐるっては、学力をはじめ解決しなければならない課題が顕在化しています。

生きる力を支える確かな学力をはじめ、人間関係づくりの基礎となるコミュニケーション力、自尊感情（自己肯定感）及び規範意識など、子どもたちが生きていくうえで必要な資質・能力を育成して参ります。

また、生涯学習についても、様々な場面で成果も現れておりますが、まだまだ行政課題はありますので、一つ一つの課題解消に向けて積極的に取り組むとともに、より高い使命感をもって、責任が果たせる教育行政を推進し、町民が幸せに生きるために、心豊かで生き生きしてキラリと輝く人づくりを基本理念として、創意と自主性に富んだ人間性豊かな人づくりを進めて参ります。

そのため、「子どもに夢、青年に希望、高齢者に生きがい」をテーマに、保育園・幼稚園・小中学校・高校・家庭・地域が一体となった組織的、総合的な教育施策の展開を目指して参ります。

## II 生きる力を育む就学前・学校教育の推進

就学前教育及び学校教育は、生涯にわたる学習活動の基盤であり、社会生活に必要な基礎・基本を習得する場として重要です。今、その教育現場を取り巻く情勢は、少子・高齢化、高度情報化、国際化という大きな時代の変化のなかにあり、こうした新しい時代に対応した教育の推進が求められています。

特に、学力問題をはじめ、いじめや不登校、児童虐待、子どもの安全確保等、さまざまな課題や問題が生じており、それらへの迅速で適切な対応が求められています。

このため、自ら学び・自ら考え、課題を解決していく力と豊かな人間性や社会性などの生きる力、即ち『確かな学力』を育むために、一人ひとりの可能性を引き出し伸ばす教育の推進、社会の変化に対応した教育の推進、さらには、子どもたちが安全で安心して学べる学校施設等の環境整備や安全確保に努めることにより、保護者や地域に信頼される保育園・幼稚園・学校づくりを推進します。就学前教育及び学校教育は、生涯にわたる学習活動の基盤であり、社会生活に必要な基礎・基本を習得する場として重要です。新しい時代に対応した教育を推進して参ります。



## 1. 就学前教育の推進と子育て支援について

就学前教育については、小1プロブレムに代表されるように、義務教育へのスムーズな引き継ぎの上からもますます重要になっております。保育園、幼稚園教育の中で年齢にあわせながら次のような取り組みを進めて参ります。

### 重点として

- 1) 標津町の自然を活用した遊びや学習を推進し、遊びの中から地域の良さを身につける指導を進めて参ります。
- 2) 幼児期からの読書指導が重要であることから、ボランティアの皆様の協力を得て、読み聞かせを推進して参ります。
- 3) 幼児期からの健康・体力づくりの重要性が言われており、積極的に保育・幼稚園教育に遊びを通した体力づくりを取り入れて参ります。
- 4) 就学前教育の重要性を保護者とともに考え、講演会等学ぶ機会の拡充を図って参ります。
- 5) 子育て支援の充実をめざした、保育園の時間延長や、一時預かり等を継続して参ります。
- 6) 平成24年度より、幼稚園、保育園に通園する第3子以降の保育料を無料とし、子育て支援の充実を図って参ります。
- 7) 就学前教育の保育・教育・子育ての充実や園児の減少による集団規模適正化、多様な保育ニーズ及び施設の老朽化に対応するため、双葉保育園と標津幼稚園の機能を一体化して運営する「標津型こども園」の施設整備の調査研究を進めて参ります。
- 8) 子育て支援、子どもの休業日の居場所づくりの視点から、土曜日を1年生から6年生までの児童を対象に、「キラリ土曜クラブ」を開設し、異年齢交流、スポーツなどを通じた活動を支援して参ります。

## 2. 学校教育の推進について

学校教育における重点課題は、「確かな学力と自立する力の育成」であります。

このため、学校・家庭・地域、そして行政が一体となり次代を担う子供たちの「生きる力」を身につけさせるため、基礎・基本の徹底、活用する力（思考力、判断力、表現力等）の育成や児童生徒の実態・課題の把握と授業の改善、個に応じた指導の充実、土台となる基本的な生活習慣・学習習慣の定着を図り学習意欲の向上と知・徳・体のバランスの取れた子どもの育成を目指した取り組みを推進して参ります。

### 重点として

- 1) 子どもの育ちをつなぐため保・幼・小・中・高における校種間の垣根を超えた発達と学びを連続した期間ととらえ、子どもの発達段階に応じた一貫性のある問題解決による学習指導・生活指導を行うとともに、校種間相互の連携・交流を深め系統的・継続的に行うため一貫教育の充実を図って参ります。
- 2) 新学習指導要領が小学校では昨年度より、中学校においても本年度より全面実施となり、本町の教育力と学力向上を目指し改訂内容を適確に捉え、実践的手法などの調査研究と全国学力・学習状況調査結果を活用するとともに、文部科学省の指定研究を活用した学習指導改善等の実践的研究の成果の普及を図って参ります。
- 3) 保護者の教育費負担軽減対策として、教材を補う資料集や問題集などの副教材・実験実習費等の教材費の増額と公費負担可能な副教材等の有無の見直しを図り、義務教育段階での保護者の経済的負担の軽減と教育効果の向上を図って参ります。
- 4) 定数加配教員及び巡回指導教員を継続配置し、低学力層を減らし、高学力層を伸ばす効果的な習熟度別少人数指導と他校へ出向きT・Tによる授業など、個に応じたきめ細かい指導を一層充実するとともに、教員の指導力向上の支援強化を図って参ります。

- 5) 全国学力・学習状況調査や標準学力検査の結果を踏まえ、学力・学習状況をきめ細かく把握・分析を行い、教育施策の成果と課題の検証と児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等を図って参ります。
- 6) 連携協定締結大学の教育力を地域で活用し、夏季休業期間中の「学びサポートサマー教室」「海の体験科学教室」「通学合宿」等の事業を、それぞれの大学の学生による児童生徒の学習習慣や基礎・基本の定着に向けた支援と学びの機会の充実を図るため継続実施して参ります。
- 7) 標津高校の魅力づくりと存続に向けた取り組み支援を継続し、一層の充実を図るとともに、町内中学校との連携を図って参ります。
- 8) 幼児・児童・生徒の生活、学習、生徒指導上の諸問題の未然の予防や解決を図るため、町内の保育園から高校が連携協力し合い情報交換や問題点を共有すると共に、改善に向けた協議を推進するため生徒指導総合連携協議会の充実を図って参ります。
- 9) 不登校・いじめ・学級崩壊など深刻な問題への早期対応を図るため、学校ごとのアセスメント（学習環境適応調査）から子ども個人の学習意欲と学級集団の状況を客観的に分析活用し課題解決に向けた取り組みを図り、より充実した学習指導と生徒指導を展開して参ります。
- 10) 教育用コンピュタリース更新等により児童・生徒の情報活用能力の育成とデジタル教材や教科書などのICTを最大に活用し「わかる授業」「魅力ある授業」づくりを目指し、児童生徒の学習への関心意欲の高揚に努めて参ります。
- 11) 特別支援学級の児童生徒の学校生活介助などの支援を行う介助員を標津小学校及び標津中学校に配置するとともに、町適正就学委員会や関係機関との相互連携による適正な就学相談や就学指導により子供たちの自立に向け、一人ひとりの教育ニーズに応じたきめ細やかな生活・学習支援を推進して参ります。
- 12) 地場産物を活用した「ふるさと給食」を通じた食育を推進し、地場産物に対する理解を深め、郷土を大切に作る心や食に関する正しい知識、望ましい食習慣を身につけ、健やかな心と体を育むため、地場産物の安定的な供給と利用拡大を図って参ります。
- 13) 昨年3月の東日本大災害に見舞われた今、学校施設の安全性と危機管理体制が改めて問われています。本町の小中学校校舎等は、既に耐震補強工事が終了しており耐震性が確保されております。  
この大災害での津波では、多くの方が犠牲となった教訓を今後に生かすため、町の防災計画と連動して学校危機管理マニュアルの見直しを図るとともに、児童生徒自らも自己を守る能力や態度の育成に積極的に取り組んで参ります。
- 14) 学校施設等の改修整備については、児童生徒に安全に安心して快適な教育環境を提供するため、計画的な改修整備に努めて参ります。  
また、3月末で廃校となる薫別小中学校及び古多糠小中学校の校舎等及び教員住宅の後利用については、地域の要望・町全体の施設需要を整理し、ムリ・ムダを極力抑えた後利用等の検討を進めて参ります。
- 15) 子供たちに質の高い教育の提供や様々な教育課題に適切に対応するため、町教委や北海道教育委員会などの各種研修会を活用して指導のスキルアップを図るとともに、町内公開研修会や校内研修会、更には標津町教育研究所の活動支援を通じて、教職員の実践的指導技術向上に努めて参ります。
- 16) 教育への信頼を根底から覆すこととなる、教職員の不祥事の根絶に向けた綱紀粛正、服務規律の保持に関し周知徹底すると共に、教育に携わるものとしてその崇高な使命を深く自覚し、地域住民の信頼を裏切ることのないように規範意識を高めるため、教職員が主体的に不祥事防止に取り組む校内組織として「不祥事防止委員会」の設置を推進して参ります。

### Ⅲ 生き生きと学ぶ社会教育の推進

「町民力」を活用し、活力ある標津町の発展のためには、個性豊かで想像力に富んだ人材の育成とともに、生涯を通じて豊かな人間性を育むことの出来る生涯学習体系の発展が不可欠であります。

町民一人ひとりが地域の自然や歴史、文化に親しみながら学び続けることにより人間性を向上することの出来る標津町ならではの生涯学習の推進をめざして参ります。

#### 1. 生涯学習の重点として

- 1) 健全な青少年の育成とともに町民相互の心が通い合う「あいさつ運動」の推進に向け町内会や各地域の健全育成関係団体等とも連携し進めて参ります。
- 2) 土曜休業日等の子どもの居場所づくりの取り組みを進めるとともに、映画会の開催等の事業を推進して参ります。
- 3) 地域の教育力を担う団体組織を支援するとともに、平成23年度よりスタートした青年団体や女性団体の交流機会（サミット）の拡充や地域活性化に向けた取り組みの支援をして参ります。
- 4) あすばる事業である「通学合宿」を発展させ、学校教育、社会体育、教育大学、地域との連携による学び塾（学習）、遊び塾（体力）、生活塾（生活習慣）の「きらり子ども塾」として、地域の子どもは地域で育てるという町民力を生かした事業展開を図って参ります。
- 5) 「きらり大学講演」「キャンパスライフ講座」のほか、町や各機関との連携講座による「きらり大学」を継続し、町民の学習意欲の向上を図って参ります。
- 6) 地域の人材を活用したふるさとの味再発見と食文化の伝承のため「浜の料理教室（仮称）」などの講座を開設して参ります。
- 7) 標津の児童・生徒が、未来に向けて夢や希望を持ち、明るく・楽しく・元気よく頑張っている姿を発信する「第2回子どもサミット」を開催して参ります。
- 8) 地域の豊かな自然に親しみ、ふるさと標津への愛郷心や、心に伝わる事業として、酪農、漁業体験の「食べるまでツアー」を実施して参ります。
- 9) 標津高校や北海道教育大学釧路校との連携事業である「学校開放講座」や「サイエンスフェア」等を展開して参ります。
- 10) 文化協会を中心とした、文化祭をはじめ文化活動の活性化を図り、芸術文化講演等を実施し、優れた芸術文化にふれる機会を提供するとともに、町民の発表の場の充実を図って参ります。
- 11) 所蔵絵画や町内外の芸術作品の定期的な展示や、利用者団体の発表の場として社会施設の活用を図り、豊かな文化生活への支援を図って参ります。

#### 2. 図書館活動の重点として

- 1) 「標津町子どもの読書活動推進計画」に基づき、0歳児から始める読書活動「ブックスタート」をはじめ幼児期から本に親しむ事業の展開を図って参ります。
- 2) 平成23年度の平均利用率は一日173人となっていますが、さらに図書館の利用拡大を図るとともに、町民の読み聞かせボランティアの活用、図書館便りの充実をめざし読書への啓蒙を進めて参ります。
- 3) 町民のニーズに応える読書に関する講演会を開催して参ります。
- 4) 幼児から一般を対象にした読書感想文や、学校の長期休業と連動した「ブックマラソン」に取り組むとともに、教育大学との連携による「図書館まつり」等のイベントに取り組んで参ります。



### 3. ポー川史跡自然公園の重点として

- 1) 標津町の文化財は、地域の歴史・文化を伝える町民の財産であることから、文化財の持つ価値のさらなる向上に努めるとともに、その価値を共有できるよう工夫して参ります。
- 2) 史跡標津遺跡群、天然記念物標津湿原は、国が認めた希少な遺跡、自然環境であることから保全に向けた調査を実施して参ります。
- 3) 資料館・開拓の村の活用を図るとともに、多くの資料を整理し、展示のリニューアルにより、町民はもとより学習資料としての活用を図る工夫をして参ります。

## IV 健やかな心と体を育む生涯スポーツの推進

スポーツと健康は不可分の関係にあることから、学校や地域と連携を図りながら、健やかな心と体を育むスポーツの「生活化」から「文化化」へと高める取り組みを推進して参ります。特に、近年の研究からは、子どもの学びや心の発達と運動の関係も明らかになり、運動の重要さが更に認識されております。

### 重点として

- 1) ヘルスプロモーション（自分の健康は自分で守る）の理念に基づき、週2万歩（200分）を目標にし、「あいさつ運動」とも連携した「歩こう運動」を提唱して参ります。
- 2) ラジオ体操の習慣化やトレーニングルームの活用により通年を通じた健康づくりを支援するとともに、町民のニーズに応えた各種講演会、実技講習会を開催して参ります。
- 3) 子どもの体力向上をめざし「第2期子どもの体力向上3カ年計画」をスタートし、幼児期から児童・生徒までの体力向上に取り組んで参ります。
- 4) 脳と神経・筋肉の回路を刺激する「コーディネーショントレーニング」を積極的に導入したトレーニングプログラムを実施して参ります。
- 5) 5年目を迎えた「スポーツチャレンジデー」の継続、40回目を迎える「オホーツクマラソン」の自動計測器導入などにより参加者拡大を図って参ります。
- 6) 「スポーツによるまちづくり」を推進し、「ふれあいスポーツデー」の充実やスポーツ事業を通じた町内の活性化、スポーツ合宿の受け入れ支援を行って参ります。
- 7) 「体育協会」や「スポーツクラブ」等が新しい公共の担い手となるよう積極的な活動支援を行うとともに、指導者の育成と活用を図って参ります。
- 8) 施設の弾力的運用による「体力づくり月間」を設定するとともに、毎週月曜日を「ノーマライゼーションデー」とするなど利用者の声を大切に参ります。

## V むすびに

ステップⅡで、人と文化が育つまちづくりをめざしております。「海・山・川・大平原がおりなす感動の大地・標津町」の環境を生かし、さらに「ふるさと標津の特色を生かし、心豊かに創造的に生きる力を育む」教育の推進をして参ります。

教育委員会といたしましては、社会情勢と教育を取り巻く環境の変化を踏まえて、関係部局や関係機関・団体との連携を図りながら、標津町の将来を担う人づくりのため全力を傾注して教育振興施策を展開して参りたいと存じます。

今後とも、議員各位と町民の皆様の御理解と御協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

## ●読み聞かせボランティアを募集します●

- ・読み聞かせ場所：川北幼稚園で5月から
- ・読み聞かせ回数：月に2回（日時は、幼稚園とボランティアの皆様で決めていただきます。
- ・読み聞かせに使用する本：絵本で1回あたり3冊から4冊です。
- ・募集人数に制限はありません。
- ・ボランティアになられた皆様に読み聞かせのテキストをお渡しします。
- ・お願い事項：自分で川北幼稚園に出向ける方  
：絵本は、ボランティアの皆様にご覧いただきから選んでもらいます。

※ 申し込みは図書館までお願いします。

## ●平成24年度の一日司書を募集します●

- ・一日司書の学年：小学5年生～高校生
- ・一日司書体験日：毎月第2、第4の土曜日の午後1時30分から3時30分までで出勤日を順番に決めます。
- ・体験内容：パソコンによる本の貸し出し返却、本の検索、本の予約、図書館利用登録。また、本棚の本の整理、読書など。
- ・称号の授与：体験日の最後に「一日司書の称号」を贈り、記念品をプレゼントします。
- ・平成23年度は7名が体験し、「一日司書」の称号が贈られました。

※ 申し込みは図書館までお願いします。

## ●4月のおすすめ本●

警視庁FC／今野敏著、カルテット／大沢在昌著、ゴシックシリーズ／桜庭一樹著、ロマンス／柳広司著、はやぶさ新八郎御用旅 諏訪の妖狐／平岩弓枝著、彼女がその名を知らない鳥たち／沼田まほかる著

## ●おはなし会の日程●

毎月、火曜日と金曜日に開催しています。会場は 図書館おはなしコーナーで、午後3時00分から3時30分まで。参加対象は小学1・2年生です。沢山参加すると、文房具がもらえます。

## ●ひよこおはなし会の日程●

平成24年度から回数を月2回に増やしました。

- ・4月は、5日（木）と19日（木）
- ・5月は、10日（木）と24日（木）
- ・参加対象は、入園前の幼児の皆さんです。保護者同伴でお願いします。
- ・時間は午後2時00分から3時00分までの間でしたら、いつでも参加してください。

## ●今月の特集 こんな本があります ●

### 4月 インテリアと生活の本 ～お部屋の雰囲気を変えて、気分をリフレッシュしたい時に…。

- ・『家具の教科書』家具がスタイルごとに載っているほか、家具の選び方もわかります。
- ・捨てる勇気残す覚悟』衣類や靴などを整理したいけれど、見分け方に迷った時にどうぞ。

### 5月 花や野菜を育てる本 ～きれいな花やおいしい野菜の栽培にチャレンジしてみませんか？

- ・『庭の花図鑑500』庭の実例を見ながら、たくさんのお花を紹介しています。
- ・『おいしい菜園とれたて野菜手帳』じゃがいもなどの一般的な野菜の育て方がわかります。

## ●絵本行進曲「ブックスタート」●

期 日 4月24日（火）午後1時30分～

会 場 保健福祉センター ひまわり

幼児の4～5ヶ月児検診の時に行います。ブックスタートの内容や読み聞かせの大切さを説明します。また絵本を2冊などプレゼントします。

## ●図書館の休館日●

4月：毎週、月曜日

5月：3日（木）、4日（金）と毎週、月曜日



平成24年度も児童生徒用図書館だよりを各学校を通し児童生徒の皆さんに配布します。本の面白さをお届けするために。

## コーディネーショントレーニングを「学ぶ会」に参加しよう!

コーディネーショントレーニングは、多様な動きにチャレンジし、脳と神経の回路を刺激し、「自分の体を巧みに動かす能力」を高めます。子どもから高齢者まで誰でも気軽に取り組み、競技力向上のほか、転倒予防など、「自分の体」を守る効果も期待できます。

北海道体育協会では、本トレーニングによる「子どもの体力向上5カ年事業」を展開しています。本町では、下記により新たな取り組みとして開催します。保護者・教員・スポーツ指導者をはじめ、多くの参加をお待ちしています。

**日時** 5月12日(木) 10:00~15:00  
**会場** 総合体育館  
**参加料** 町民の方500円 町外の方1,000円  
**対象** 成人の方  
**申込** 5月7日(月)までに総合体育館へ

## 子ども体力測定会

標津スポーツクラブ「すぽっと」主催で「運動適性テスト」を実施します。立ち幅跳び・上体起こし、腕立て伏せ、時間往復走・5分間走の5種目を測定します。自分の体力を知ってこれからの活動に生かしてみませんか?

**日時** 4月14日(土) 10:00~  
**会場** 総合体育館  
**対象** 町内の小中学生  
**申込** 4月12日(木)までに総合体育館へ

## スポーツチャレンジデー

5月30日(水)は町民総参加で!

人口規模がほぼ同じ自治体同士が、早朝から午後9時までの間に、15分間以上継続して何らかの運動やスポーツをした住民の「参加率(%)」を競い合うイベントです。昨年は東日本大震災のため、対戦形式ではありませんでしたが、本町は71.7%の実施率で4年連続の金メダルに輝きました。

今回の対戦相手は「長野県<sup>たかぎ</sup>喬木村」に決定しました。(全国で123の自治体等が参加)<sup>たかぎ</sup>「喬木村」は人口約6,600人。長野県南部に位置し、南アルプスの山々に囲まれた風光明媚な村であり、400年の歴史を持つ伝統工芸の阿島傘づくりのほか、シイタケやイチゴの生産が盛んです。

昨年の参加率は74.5%の強豪ですが、町民が心を合わせて一丸となって体を動かしましょう!

**「スポーツの町」標津の挑戦!!**  
**~町一丸、汗さわやか~**

## イベント情報(4・5月分)

事業・行事名	期 日	時 間	対 象	会 場
川北 高齢者学級	4月	10:00~12:00	高齢者	しらかば
北標津 高齢者学級	4月	10:00~12:00	高齢者	北標津寿の家
ノーマライゼーションデー 「みんなでからだを動かそう」 ~ゆっくり。ゆったりと~	4/2~5/28	9:00~	一般	総合体育館
ラジオ体操放送	4/4~5/30	10:00~	一般	各家庭、各職場
ファミリー卓球教室	4/4~13	19:00~	小中高一般	総合体育館
ノルディックウォーキング教室	4/5、19	18:00~	一般	総合体育館
子ども体力測定会	4/14	9:30~	小中学生	総合体育館
第35回春季町民卓球大会	4/15	9:00~	小中高一般	総合体育館
スポーツ体験教室	4/16~5/28	16:00~	小中学生	総合体育館
体組成計からだチェックデー	4/17、5/15	10:00~18:00~	一般	総合体育館
第35回町民ハレーボール大会、 第29回会長杯ハレーボール大会	4/22	9:00~	中高一般	総合体育館
第30回管内小学生卓球大会	4/22	9:00~	小学生	川北体育館
スポーツクラブ研修会	4/25	15:30~	一般	あすばる
古多糠 高齢者学級	5月	10:00~12:00	高齢者	古多糠寿の家
兼別 高齢者学級	5月	10:00~12:00	高齢者	まんさく
川北生涯学習センター・ 体育館利用者懇談会	5月	19:30~	利用者	川北生涯学習センター
わんぱく塾	5/9~5/30	15:00~	小学生	川北体育館
コーディネーショントレーニングプレゼンテーション	5/11	15:30~	一般	あすばる
コーディネーショントレーニング「学ぶ会」	5/12	10:00~	一般	総合体育館
漁協組合長杯球場開き野球大会 兼全道朝野球大会町内大会	5/13	8:00~	一般	町営球場
ヨ一ガ教室	5/14~6/4	16:00~	一般	あすばる
8時だよ全員集合! エアロビクス教室	5/12~26	20:00~	中高一般	総合体育館
高松宮賜杯 野球大会2部支部大会	5/20	8:00~	一般	町営球場
少年野球支部大会	5/26	8:00~	小学生	町営球場ほか
信和杯中学野球大会	5/26	8:00~	中学生	標津中・川北中 グラウンド
第1回福住杯ソフト バレーボール大会	5/27	9:30~	一般	総合体育館
スポーツチャレンジデー	5/30	早朝~21:00	小中高一般	町内
陸上教室	5/30	16:00~	中高校生	標津中グラウンド
子どもの体力向上講習会	5/30	19:00~	一般	あすばる

## あすばる所蔵品作品展 4・5月のお知らせ

場所：あすばる展示コーナー

### 【4月展示】

期 間：4月2日~27日  
 作 品：ねむろの四季(早春)  
 他四点(細見浩氏作品)



### 【5月展示】

期 間：5月1日~30日  
 作 品：アキタブキ他四点  
 (清水克美氏作品)

